

WebClass Ver.11.12.1 リリースノート

日本データパシフィック株式会社
2022/3/2

1 概要

テスト用の問題スタイルに「数値入力(精度設定可)」を追加しました。その他、保守をしやすいするための修正があります。

1.1 必要な環境

- WebClass ver.11.02 以上
- PHP require 5.3 ~ 7.3
- PostgreSQL require 8.4 ~ 13

1.2 アップデート時に確認が必要な点

v11.12.0 からのアップデートでは、アップデートに時間のかかる処理はありません。「主な変更点」および「変更点一覧」をご確認ください。

2 主な変更点

2.1 テストの問題スタイルに「数値入力（精度設定可）」を追加

正答数値や学生の解答では、10 の対数を ‘E’ を用いて表すことができます。

問題スタイル	数値入力(精度設定可)	回答枠の数	4
正 答	(1)の正答数値 ->	-15	(1)の誤差 -> 1 %
	(2)の正答数値 ->	4.2E2	(2)の誤差 -> 5 %
	(3)の正答数値 ->	1300	(3)の誤差 -> 10 %
	(4)の正答数値 ->	1.4E-3	(4)の誤差 -> 10 %
Hint : 正答数値と誤差には数値のみ入ります。数値以外の文字や記号は入力できません。 Hint : 正答数値はEを用いて10の対数を表すことができます(例 : -0.00024 = -2.4E-4)。ただし、誤差にはEは使えません。 Hint : 誤差の単位は%であり、相対誤差です。上限と下限も入ります(例 : 正答数値が100・誤差が20%の時、80以上120以下の解答は正解になる)。 Hint : この問題形式は部分点が入ります(配点÷入力箇所×正解の数)。 Hint : 選択肢並べ替えは行われません。			

(1)	-15
(2)	420
(3)	1.2E3
(4)	1.4E-3

(100)

[前のページ] 次のページ

採点

学生の解答が正答数値と完全に一致していなくても、許容誤差の範囲内ならば正解になります。誤差の単位は%です。下限と上限も正解の範囲に含まれます。

例) 先生が設定した正答数値が 1.2E2、誤差 10%の時

○120, 1.2E2, 108, 1.08E2, 132
×107, 133, 1E2

利用想定

- ・ 自然対数や三角関数など、細かな少数が関わる計算結果を答える
- ・ グラフから値を読み取って計算結果を答える

3 変更一覧

3.1 テスト・レポート・アンケート

- テスト用の問題スタイルに「数値入力(精度設定可)」を追加しました。この問題スタイルで設問を作成すると、学生の解答が正答数値と完全に一致していなくても、許容誤差の範囲内ならば正解になります。(!2842)
- 「設問編集」画面にて、問題スタイルを記述式に変更後「字数制限」の下限の欄に上限以上の値を入力すると、警告文が表示される機能を追加しました。字数の下限が上限より大きい場合、回答したときに回答が保存できないトラブルを事前に避けることを目的とした機能です。(!2785)
- 「回答の見直しを許可」オプションが有効な教材を利用するとき、立て続けに他の教材を同時に起動すると、先に起動していた教材では見直し許可が無効になって動作することがありました。教材を同時に起動したとき、他の教材の設定の影響を受けにくくしました。(!2847)
 - 教材の同時利用をサポートするものではなく、できる限り回答の正常な保存、もしくは正常に保存できないときはいち早くエラー表示に切り替えるための改善です。

3.2 レポート採点

- テスト・レポートの記述式の設問の設定で、半角スペースのみのキーワードが指定されていると、「レポート/記述式問題の採点」画面で学生の回答の表示がおかしくなっていました。そこで、そのようなキーワードが含まれていても正しく回答が表示されるようにしました(!2863)
 - なお、半角スペースのみをダブルクォーテーションで囲ってキーワードとして指定している場合は正常に表示されていました。

3.3 ピアレビュー

- 学生用の評価結果画面で評価の表示条件を修正しました。(!2836)
 - 先生からもらった評価が表示されていなかったため、表示されるようにしました。
 - もらった評価の並び順を評価時刻順にしました。ユーザ名順になっていましたが、匿名表示のため、来た順にして余計な推測ができなくします。
 - 開講年度の設定がない過去のコースを開いたとき、平均得点分布グラフが表示されなかった問題を修正しました。
- 先生用の評価結果画面で評価の表示条件を修正しました。(!2836)
 - 提出者一覧には先生は表示されませんが、レビューした人の一覧には先生も表示されるようにしました。先生は一覧の最初にまとめて表示されます。
 - 計期間の検索条件で、過去のコースもチェックできるように開講年度に基づいて選択可能な年の選択候補を表示するようにしました。

3.4 バックアップ/レストア

- コースのバックアップに含まれるデータを拡張しました。拡張したデータはまだレストアには対応していません。

- 教材の再提出指示記録 (!2813)
- グループセット設定(!2838)
- ピアレビューの設定とピアレビュー結果 (!2832, !2864)
- 学習カルテの回答のうち属性が「コース」と「個人（本人）」
(!2782, !2864)
- SCORM 教材の実行履歴 (!2839)
- LTI 教材の設定情報。(!2844)
- 成績評価 (!2850)
- 掲示板教材の既読状況。(!2853)
- URL クリック履歴 (!2856)
- 出席教材と出席状況の修正記録 (!2858)
- 類似レポート検知の実行履歴やスコア情報。(!2860)
- シラバス (!2866)

3.5 システム管理

- システム管理者からコース管理者としてコースにログインできる機能を追加しました。これにより、システム管理者でコース・メンバーの設定の確認・変更や成績データの確認ができます。(!2859)
 - 「コース管理」からコースを検索して、各コースの項目に表示される [先生として見る] を押すとそのコースにログインできます。

3.6 マニュアル

- ユーザズマニュアルを更新しました。(!2848)
- システム管理者およびコース管理者マニュアルを更新しました。(!2868)

3.7 学習記録ビューア

- 学習記録ビューア v4.4.17 => v4.5.0
- 修学カルテプラグイン v2.22.2 => v2.23.1
- 授業評価アンケートプラグイン v2.16.8 => v2.17.0
- 課題実施状況一覧プラグイン v2.3.3 -> v3.0.0
- WebClass ユーザ活動情報プラグイン v2.2.3 -> v2.3.0
- DP 学修達成度可視化プラグイン v1.0.0 -> v1.1.0